

加盟校・加盟員・関係者の皆さまへ

2023年 2月 27日
関東学生ゴルフ連盟
感染対策委員会
2023年度委員長 加藤眞一郎
2022年度委員長 金井 毅

2023年度の競技開催における感染対策についてのお知らせ

平素より本連盟の運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、直近3年間、本連盟の感染対策において多大なご協力、ご対応を行なって頂き、心より感謝申し上げます。

早速ではございますが、表題の通り、2023年度の本連盟主催競技における感染対策面でのガイドライン（第4版改訂版）並びに付随するご説明資料（フローチャート）をホームページ掲載させていただきますので熟読・周知の程、宜しくお願ひ申し上げます。

今年度ガイドラインの概要としましては、これまでの本連盟感染対策における検証・実績や、政府からの新型コロナウイルス感染症（通称）の扱いを「2類から5類へ引き下げる」という世情を鑑み、昨年度とは異なるシンプル化した内容となっております。

基本指針は、「感染者（感冒症状含む）の競技会参加の禁止」と「学校バブルシステムの徹底」とし、選手・責任者（指導者の方々、主将、帯同主務・又は準じる者）は、事前のPCR・抗原検査はナシ、競技1週間前からの検温・健康自己チェック並びに試合当日（練習R含）の検温と体調確認で「**健康体なら入場**」としました。

また手書き記入の「体調管理チェックシート」に代わり、既に JGA が施行している感染対策アプリ「テレサ」を導入し「体調管理チェックシート」と同じ内容を携帯電話端末より打ち込んで頂くことで漏れなく一元管理でき、選手・関係者サイドからみても、チェックシートの「うっかり忘れ」による入場不可となる懸念も無くなりました。

*「テレサ」の使用説明については、後日、ご説明資料を手立てさせていただきます（携帯の活用に慣れ親しんでいる昨今の学生さんにとっては、とても簡単かと思います）

一方で、前述の 2 類から 5 類への引き下げにより、感染対策マネジメントが、大学内及び部内現場での責務に委ねられる部分も大きくなりますので、所属大学の部活ルールとの連携もこれまで以上にとって頂ければ幸いです。

上記の背景もあり、本連盟では、

- ・ギャラリー人数制限なし（人数、お名前把握の為、「入場届」は提出して頂きます）
 - ※ギャラリーに関しては、当日の検温と体調確認のみ実施としますので「健康体」の加盟員だけを会場に帯同できるよう、責任者の方のご配慮、お願い致します。
- ・宿泊時のシングルユースの規制なし
- ・競技前の宿泊を伴う合宿・練習の届け出義務なし

その他、昨年ガイドライン 3 版に記されていた内容の多くが今年度版から無くなっております

*別途「できることなら絶対に感染を回避したい」という方に向けた指南書として、ガイドラインとは別に、予防対策を記載した「感染予防の手引き」をご参考までに同時掲載し、フォローさせていただきます。

以上が概要となりますので、これを受けて、今年度ガイドライン並びにその流れが記載された感染対策「フローチャート」をご参照頂き、引き続き「安心」「安全」な競技運営へのご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。